



名古屋市立大学大学院
経済学研究科准教授

藤田 菜々子氏

オープン カレッジ

ケンナー・ミューダールという経済学者をご存じだろうか。スウェーデン人で、スウェーデン福祉国家の形成に大きな思想的影響を与えた人物である。1974年にハイエックと「ノーベル経済学賞」を受賞。著書のいくつかは日本

語に訳されており、大阪万博点として、1930年代を以てはNHKの招待で講演し、出せる。当時、世界は「危機」の只中にあった。アメリカでスウェーデンなどの北欧諸国は、手厚い福祉で知られる。9年である。不況は国境を越えて長期化した。また、既に「高福祉・高負担」というフレーズが有名だが、重要な出現していた社会主義体制に、むしろそれを支える経済加え、ファシズムの台頭があった。

スウェーデン・モデルの経済思想

や思想であろう。経済と福祉を両立させる秘訣（ひけつ）は何か。現代日本への示唆を求めて、スウェーデン・モデルの特質が問い直されている。激化を受けて、1932年に社会民主主義労働党への政権交代が起こる。まもなく、新たな経済政策や福祉政策の方

ふじた ななこ 経済学史
・制度経済学。名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士（経済学）。1977年生まれ。

福祉は人的資本への投資

針が示され始めた。

ここで新しい福祉理念を提示したのがミューダールである。実は、スウェーデンで、もう一つの危機が生じていた。少子化である。出生率はヨーロッパで最低で、人口再生産に満たない数字を記録した。保守派は国力衰退を恐れ、避妊具の広告・販売を禁じる法律を制定した。他方、労働者階級は、生活水準を上げるとして人口減少を歓迎する。マルサス主義を信奉してい

就労女性のワーク・ライフ・バランスを確保する必要があった。実は、スウェーデンで、もう一つの危機が生じていた。少子化である。出生率はヨーロッパで最低で、人口再生産に満たない数字を記録した。保守派は国力衰退を恐れ、避妊具の広告・販売を禁じる法律を制定した。他方、労働者階級は、生活水準を上げるとして人口減少を歓迎する。マルサス主義を信奉してい

就労女性のワーク・ライフ・的に労働生産性を押し上げる効果をもつので、経済にプラスに働く。人口論議を通じて、福祉の考え方を示した。普遍主義とは、資産調査によって効率性と親和的な福祉観をスウェーデンに根付かせた。人口政策とは社会政策にほかならず、社会政策と経済政策と

彼が求めたのは、妊産婦や幼児、若年層に対するよりよいケアの充実であった。福祉とは、社会による人的資本への積極的投資である。の経済学』をお読みいただければ幸いである。